

所 属	農政部 農地整備課		
担当(係)名	農地防災担当	内線	3184

農村の安全・安心な暮らしを守る農地防災施設の整備

1 事業費	【財源内訳】	【主な用途】
1, 159, 615	国庫 521,528	工事請負費 795,905
(前年度 1, 270, 058)	県債 401,200	委託料 312,000
	一般財源 34,892	
	分負担金 201,995	

2 背景・現状

平野部の低平地では、豪雨による農地・農作物の湛水被害を防止するとともに、地域住民の生命・財産を洪水被害から守るため、農業用排水機場が60箇所設置されているが、建設後30年以上を経過した排水機場が23箇所存在し、老朽化等による排水機能の低下が懸念されることから計画的に改修する必要がある。

また、県内約2,500箇所のため池は、農業用水の貴重な水源のほか、豪雨時の洪水における一時貯留や地域の憩いの場としての役割を担っているが、豪雨等に対し老朽化しているため池の危険性が増しており、改修の必要なため池は338箇所存在することから、早期に対策を実施する必要がある。

3 事業目的

老朽化した農業用排水機場、農業用ため池の整備等を推進し、農地や農村の災害防止、地域農業の振興を図るとともに、地域住民に老朽化したため池の危険性、緊急時の避難対応等の情報を提供する。



【農業用排水機場の整備】

4 事業概要

○農業用排水機場の整備

県営湛水防除事業 7地区

○農業用ため池等の整備、ため池防災マップの作成

県営ため池等整備事業費 17地区

県営ため池防災対策事業 7地区

ため池防災支援事業 30地区



【農業用ため池の整備】

(款) 6 農林水産業費	(項) 4 農地費	(目) (7) 農地防災事業費
(明細書事業名) ○公共事業		
県営湛水防除事業費、県営ため池等整備事業費		
(明細書事業名) ○単独事業		
県営ため池防災対策事業費、ため池防災支援事業費		